

かりの名人ナガコガネグモ

常磐南小学校 3年 佐藤 朗海凜

1. 調べようと思ったわけ

ぼくの家のみまわりには、いろいろななまむしのクモがたくさんいます。その中でもナガコガネグモは1番大きなクモです。えさをとる技はすごく速くて、まるで映画のスパイダーマンのようです。

そこで、ぼくはこのクモのえさをとる技を研究したいと思いました。

2. 準備

・ナガコガネグモ ・えさとなる虫 ・カメラ ・図かん

3. 方法

ナガコガネグモがすを作ったところで、いろいろな虫をとってきてあたえる。それぞれのえさをどのように食べるのかを観察して、そのちがいを調べる。

4 観察

〈8月7日〉 シオカラトンボ



- ①とんでにげないように、はねを糸でぐるぐるまきにする。
- ②次に体全体を糸でぐるぐるにまいて動かなくなると一度はなれる。
- ③おなかですいたところにきん肉にかかりついて食べる。
- ④頭、羽根、体の皮は食べずにのこし、糸を切って地面に落とす。

〈8月8・9日〉 ショウリョウバッタ



- ①バッタの長い足を糸でぐるぐるまきにしてはねで動けなくする。
- ②体全体を糸でぐるぐるまきにした後、はなれて様子をみる。
- ③しばらく様子を見た後、きん肉にかかりついて食べる。
- ④羽根やかたい足は食べないで、中みだけを食べてあとはすてる。

〈8月10日〉 カマキリ

- ①カマがきけんなので、一番先にかまを糸でぐるぐるまきにしてから、体ごと糸でまきこんだ。②あゝという間に食べた。



5. 分かったこと

- ①ナガコガネグモは、えさになる虫の一番強いところを一番先に、そしてはやく糸でぐるぐるまきにしてしまう。
- ②どんな虫でもきん肉にくらいついて中身だけを食べる。図かんで調べたら、きん肉に消化えきを注入して、どろどろにとかしてから、すいこむように食べることが分かった。

6. 感想

ナガコガネグモは、き色と黒のしまもようがきれいで見ていてあきませんでした。えさになる虫たちは少しかあいそうですが、ナガコガネグモもたまごを産むために、しな人だと思いました。